



昭和60年6月選定

名水所在地／鳥取市浜坂・鳥取市福部町湯山

伝説と神秘の池

「お種という娘が甘い柿をどこからか取ってくるので、不思議に思った村人が後をつけると、お種は池のほとりで白蛇となって池を泳ぎ、中の島の柿の木に登って実を取っていた。」このような伝説を持つ多鯰ヶ池は、鳥取砂丘の南に隣接した面積約24haの透明度の高い水を湛えた小さな池である。約1万年前に山地の谷が浜から押し寄せた砂丘によってせき止められてできたとされる閉塞池で、最深部で深さ約17mと中国地方で最も深い池とされる。

池の淵にある弁財天の森は常緑樹に覆われており、12～2月頃には自生する北限から南限までの各種の椿が咲き誇る。この中には弁財天を祀る弁天宮や前述のお種さんを祀る祠があり、毎月巳の日には信者が参拝に集まっている。

池の北東部には、スイレンが繁殖して大群生をつくっており、池の名前にもある鯰や、山陰地方では珍しいアカヒレタビラというタナゴの一種、希少種のヌマカイメン等が生息している。

アクセス

- JR山陰線「鳥取駅」からバスで20分

問い合わせ

鳥取市 生活環境課
郵便番号: 680-8571
住 所: 鳥取市尚徳町116番地
電話番号: 0857-20-3216





昭和60年6月選定

名水所在地／鳥取市用瀬町

清流と流しびなの里

一級河川千代川の用瀬町地区は、急流岩を咬み、古くから格好の鮎釣りの名所であるとともに県無形民俗文化財に「もちがせの雛送り」として指定され、流しびなの行事が行われる場所として有名である。

ひな流しのそのものの原型は、源氏物語の須磨の巻の著述にあるように、遠く平安時代まで、そして、用瀬の流しびなは江戸時代後期までさかのぼることができる。現在も旧暦の3月3日に着飾った少女たちが災厄を人形に託して、ひしもち、あられ、桃の小枝などと一緒に川に流すもので、早春の用瀬の風物詩となっている。

また、盆には、仏送りの行事として、灯籠流しが行われる場所でもある。

昭和63年には県、町並びに県内の木材関

連業者が協力して木造建築物と木材の良さを普及するため、大型純木造施設「流しびなの館」を建設し、館内の展示室には全国の雛人形が常時展示されている。

この「流しびなの館」は、その時代に建造された京都、山荘北山殿の舍利殿（現在の鹿苑寺金閣）をモチーフにしながら、古代から仏教建築のシンボルとして親しまれている塔を融合し、頂部には素朴な流しびなを型どった相輪を乗せている。

また、歩行者専用のひいな橋が架設されている。この橋は「流しびなの館」や橋のたもとで行う流しびなの行事との調和に配慮した赤い擬宝珠高欄を有し、川と緑の自然の中で古くからの伝統美を強調している。

アクセス

- JR因美線「用瀬駅」→徒歩5分

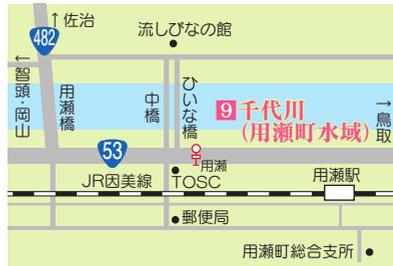
問い合わせ

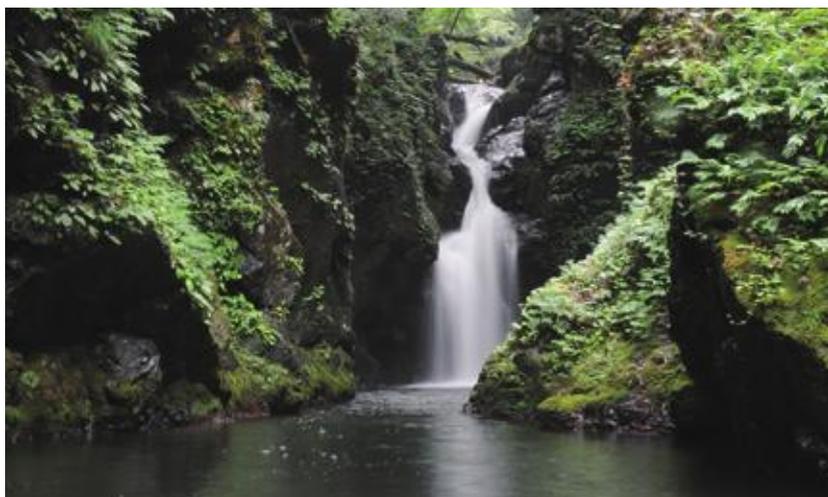
鳥取市 生活環境課

郵便番号: 680-8571

住所: 鳥取市尚徳町116番地

電話番号: 0857-20-3216





昭和60年6月選定

名水所在地／鳥取市佐治町中

自然満喫 山王滝

山王滝水域は、一級河川千代川の支流佐治川を本流とする自然豊かな美しい渓谷で、多数の滝がある中、山王滝は高さ15m、幅4m、上部が浸食により後退し、三段の滝となっている。滝壺は幅20m、奥行き15m、深さ約2mの楕円形である。水量は豊富で、真夏でも肌寒さを感じさせる。

ヤマメ、イワナなどの渓流魚が生息し、上流域にあたる高鉢山にはイヌワシが生息し、シマイヌワラビが自生している。

この一帯は、氷ノ山・後山・那岐山 国定公園に指定され、ふもとのたんぼ

り荘・山王谷キャンプ場からは遊歩道があり、春の新緑、秋の紅葉など四季を通じて自然を楽しむことができる。

『「山王滝」の「ぬし」という大蛇が嵐を呼んで大雨を降らせ、佐治川は氾濫し、川下の百姓は苦しみ泣かされていた。嵐が止んで大雨も治まり青空が見えるようになると、必ず妙齢の美女が一人、蛇の目傘を片手に深々とさして佐治川に沿って奥向きに足早に入っていくのを、何人かの村人が見掛けたが、誰もその美女の素性を知る人はいなかった。』という山王滝のおろち伝説がある。

アクセス

- JR因美線「用瀬駅」下車→バス40分「尾際バス停」下車→徒歩10分（たんぼり荘着）→遊歩道を徒歩15分

問い合わせ

鳥取市 生活環境課

郵便番号：680-8571

住 所：鳥取市尚徳町116番地

電話番号：0857-20-3216





昭和60年6月選定

名水所在地／倉吉市関金町泰久寺

逆さ大山の映る憩いの水辺

「大山池」は、水田のかんがい用溜め池として造られた貯水溜め池である。

この付近には、大正5年から着工され随時完成した「溜め池」が合計8カ所あるが、この内最大の貯水量を誇るものが「大山池」であり、元の名を「狼谷貯水溜め池」と言い、当初大正13年に完成したものが、昭和18年から2年間で現在の溜池になったと言われている。また、大山と蒜山三座の姿が静かな湖面に映ることから、「大山池」という呼び名が自然についたとも言われている。

周囲1.4km、最大貯水量132万トンの規模を誇る大山池の雄大さと国立公園「大山」の眺望、また、蒜山三座の姿を一目に見ること

ができることから、中国自然歩道のコースとして、休憩所・公衆トイレ、つつじの観賞歩道などが整備されている。

また、この水辺を使って「マリンスポーツ」を取り入れたカヌー、ヨットなどの「艇庫」が整備され、多くのグループ、子ども達が訪れている。

春は桜やつつじの満開、夏はマリンスポーツとキャンプ・ハイキングのメッカに、また秋は付近の山々の紅葉狩り、冬は水面に積った雪と、四季それぞれの楽しみがあり、水辺の近くまで広域農道が整備されていることから、多くのドライバーが立ち寄る倉吉市有数の観光地となっている。

アクセス

- JR山陰線「倉吉駅」→路線バス関金線・明高行「泰久寺バス停」下車→徒歩20分
- 米子道湯原ICより車で40分
- 駐車場あり(約40台駐車可)

問い合わせ

倉吉市支所管理課(関金庁舎内)
郵便番号:682-0402
住所:倉吉市関金町大鳥居193-1
電話番号:0858-45-2111
倉吉市環境課
郵便番号:682-8611
住所:倉吉市葵町722
電話番号:0858-22-8168



<http://www.city.kurayoshi.lg.jp/>



昭和60年6月選定

名水所在地／西伯郡大山町鉾戸1520番地

静寂かつ荘厳な憩いの水辺

大野池は大山町の南西部に位置する豪円山に続く高滝山の山麓、種原にあり、豊富な水量ときれいな水質の湧水をせき止めてできた人工池である。

湖畔は、水際から徐々に野原となつて松林に連なり、釣り、ボートなど四季を通して、多くの人々に憩いの水辺として親しまれている。

また、大山の雄姿も眺められる静寂かつ荘厳な独特の雰囲気呈している。

関係住民及び町はもとより、池に隣接するホテルも水環境保全のため、生活排水は池に流入させないよう工夫するなど、水質汚濁防止対策を講じている。

また、古くから種原地区の農業用水として利用され、築堤改修工事を数回実施して水量確保に努めている。

アクセス

- JR「大山口駅」下車→路線バス佐摩大山線「あけまの森バス停」下車→徒歩15分
- 駐車場あり

問い合わせ

大山町 住民生活課

郵便番号: 689-3211

住所: 西伯郡大山町御来屋328番地

電話番号: 0859-54-5210

メールアドレス: juumin@daisen.jp





昭和60年6月選定

名水所在地／日野郡日野町下黒坂1250

山頂に広がる水鏡の湖

～その水面は空を映し、樹木を映す～

標高400mの高原にある周囲2.3kmの美しい池で、新緑や紅葉のシーズンには、ハイキングをはじめ、鶉の池マラソン大会など人々のふれあいの場となっている。

池を見下ろす、鶉の池公園には、テントサイトのほか、炊事棟、管理棟(要予約)があり、美しい湖畔を眺めながら自然を満喫できる絶好のキャンプ地で、多くの人で賑わっている。

また、周辺は県の鳥であり町の鳥でもあるオシドリなどたくさんの野鳥を観ることができる。

アクセス

- JR伯備線「根雨駅」下車→車で10分もしくは、「黒坂駅」下車→車で5分
- 駐車場あり

問い合わせ

日野町 企画政策課

郵便番号:689-4503

住所:日野郡日野町根雨101番地

電話番号:0859-72-0332

